

## 研究を進めるにあたって

### 研究テーマについて考えよう

本園の子どもたちの実態は？

動植物が  
好きだよね

どんなことを研究したい？

打たれ弱い所が  
あるね

子どもたちの遊びを  
もっと知りたいな



いざこざを避ける  
傾向があるよね

「遊び込む」って  
よく言うけれど  
具体的にはどんな姿かな？

主体的に生活する子どもたちの姿が  
見られるようになってきたよね

遊びをどのように  
見取ればいいのかしら？

遊びの継続や充実が見られるように  
するためにはどうしたらいいんだろう？



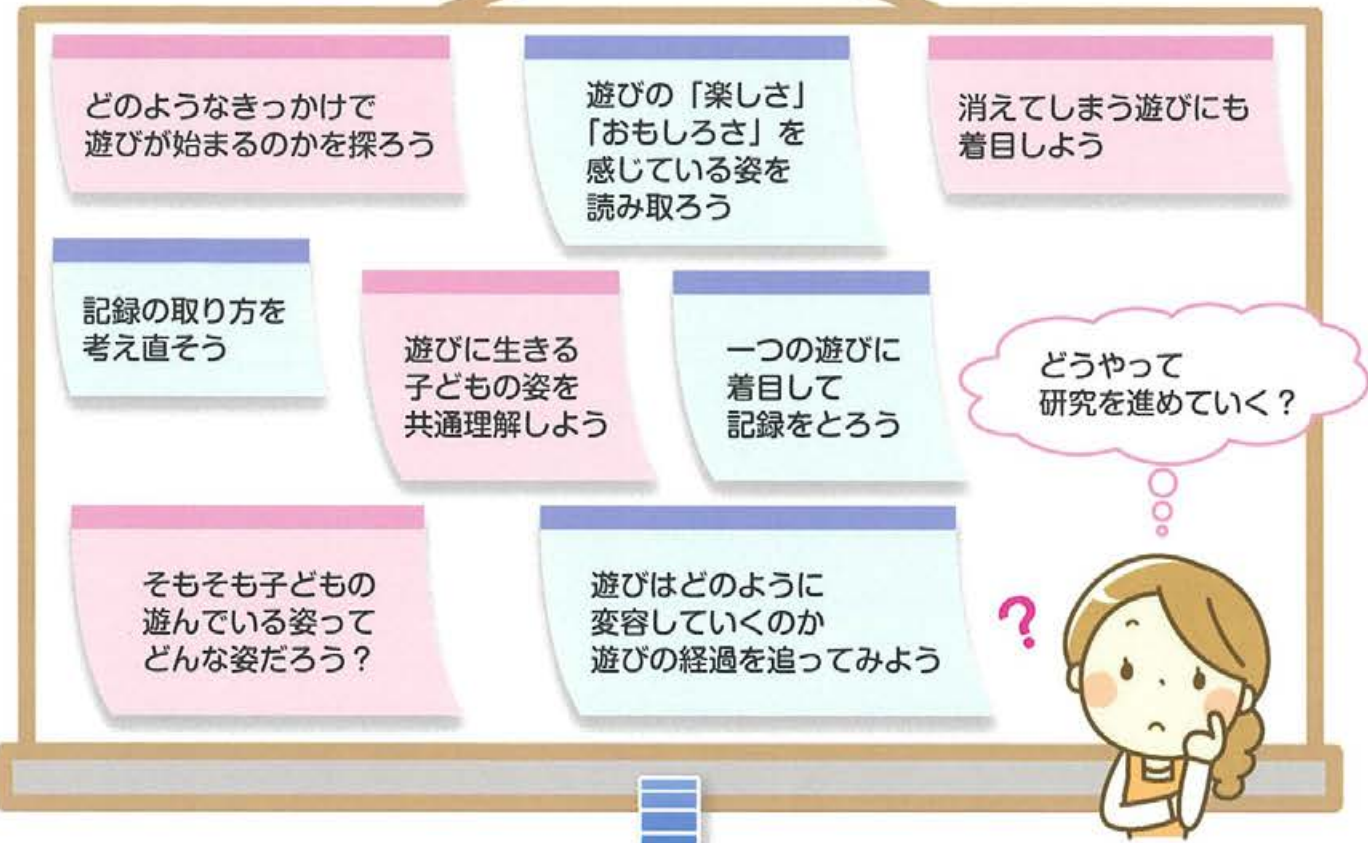
# 子どもたちの遊びをもっと深く知りたい」 ・・・という思いから

〈研究テーマ〉

## 遊びに生きる子どもを育む ～遊びの育ちを追いながら～

## 研究の取り組み

### 研究の進め方について考えよう



### 実際の進め方は・・・？

## 保育実践

#### 日々の記録

- ・遊びの中で子どもの姿や遊びの経過を記録する。
- ・どこでどのような遊びをしているのかを園内環境図に記録する。
- ・遊びの楽しさやおもしろさを感じている姿に着目して記録する。

#### 園内研修会

- ・複数の教師が、一つの同じ遊びを追い、遊びが広がったり深まったりした要因を探る。
- ・一人の子どもの遊ぶ姿を追い、どのようなきっかけで遊びが始まり、遊びの中で「楽しさ」「おもしろさ」を感じている姿を捉える。

#### 実践事例検討

- ・遊びの中で子どもの姿や遊びの経過を具体的に記録する。
- ・遊びがどのように変容していくかを記録する。

#### 保育研究会・研究協力員協力者会議

- ・他園の先生方に、保育を見ていただいたり、研究の取り組みを聞いていただいたりして、様々な視点からの意見をもとに研究を深める。

#### 保育内容の発信

- ・運動会、展覧会、発表会などの行事に至るまでの日々の遊びの積み重ねについて写真や子どもの言葉などを用いてドキュメンテーションを作成する。遊びの育ちをまとめ、保護者や地域の方々に発信する。
- ・作成する中で、教師は、遊びの中の子どもたちの学びの姿を捉え直す。



日々の遊びの中で



虫の名前は何か？  
調べてみよう！



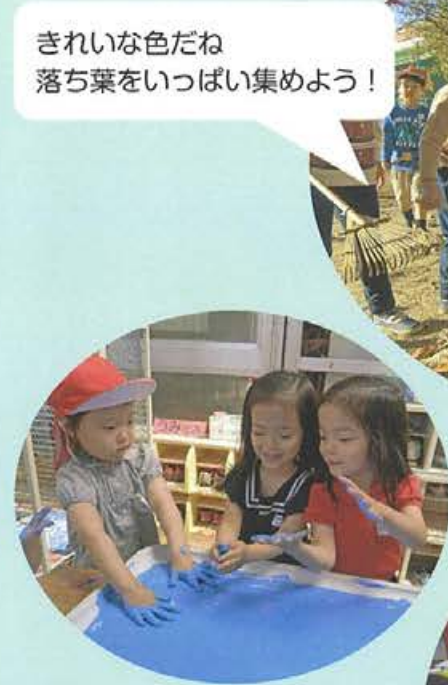
どのくらいの大きさに  
切ったら食べやすいかな？



もっと！もっと！  
いっぱいドングリを転がそう



一緒にごちそうつくろう



きれいな色だね  
落ち葉をいっぱい集めよう！



興味・関心をもち  
自分から関わる姿

繰り返し遊ぶ姿

友達と関わり合う姿

夢中になって関わる姿

試行錯誤しながら関わる姿

目的をもって関わる姿

課題を解決  
しようとする姿



この花で色水をつくると  
どんな色になるかな？



的をねらって  
こまをまわそう！

樋をつなげて水を流そう



どうやったら高く積めるかな？  
みんなで一緒に考えよう



トンネルを明るく  
したいな  
そうだ、窓を開け  
よう！

遊びが広がったり深まったりした要因を探る

遊びの育ちを追って (3歳児)

子どもが遊びの楽しさ、おもしろさを感じている姿を子どもの言葉で

教師の思い・願い

環境構成・再構成・教師の援助

線路づくりを通して (Ⅱ期)

一人一人の「大好き」や「楽しい」を受け止めながら、子どもの姿や遊びを支えていきたいな。



みてみて！  
線路を描いたよ

・線路を描く場と車で遊ぶ場を近くに設けておく  
・互いの遊びに気付けるように教師が言葉を掛ける

描いた線路の上を  
本当に汽車が走っているよ！

汽車が出発します！

線路を描いてつなげる楽しさと、汽車を走らせる楽しさが合わさると、遊びがつながったり広がったりしていくのではないかな。

・扱いやすく、つなぎやすい素材で線路をつくれるようにする  
・生活体験から広がっている子どものイメージが再現できるように、積み木や指人形を近くに設えておく  
・子どもの「どんどん」「もっと」に共感しながら、思いを実現できるように環境を構成していく

どんどんつないでいくよ！

大好きな「汽車」の遊具を介して、それぞれが近いイメージをもちながら遊びを楽しめているようだな。一人一人が楽しさを感じているところを丁寧に読み取りながら、思いを叶えていけるようにしていきたいな。

・一人一人がじっくりと遊べるように、広い場所を設ける  
・線路や汽車の近くに、積み木や指人形を設える

線路も汽車も  
長くつながったよ。  
もっとつなげよう！

汽車に乗るのを待っている  
お客さんもいるよ

駅や車庫、トンネルも  
つくらなくっちゃ

遊びが広がったり深まったりした要因

- ・大好きなものがあつた
- ・3歳児の発達に合った遊びであつた
- ・扱いやすい素材であつた
- ・じっくり遊べる広い場があつた
- ・教師が子ども同士をつなぐ存在となつた

橋をつくる遊びを通して (Ⅳ期)

みて、みて、川みただよ  
そだ橋をつくらう！

おもしろそう！  
渡ってみよう

いいこと考えた！この積み  
木を橋の下に置いてみたら  
どうかな？  
やってみよう！

今度は橋を高くしてみよう  
グラグラするよ、でも楽しい！



・子どもがイメージしている橋に合うものを子どもと一緒に考えたり探したりする。  
・子どもたちの思いを形にできるように踏切板などの環境を準備しておく



あれ？橋が壊れたね  
どうしようかな？



もっと進んでいこう

偶然できた溝を川に見立てたA児の遊びが、橋をつくることで、三輪車で遊ぶ子どもとつながるのではないかな。

三輪車で何度も渡っていくうちに橋の真ん中がすれていることに気付いたB児が自分なりに考えたり、試したりして欲しいな。

踏んでも壊れなくなったよ

・どんな橋が作りたいか、他の子どもたちと思いが共有できるように、具体的に言葉で知らせたり、投げ掛けたりする  
・子どもたちが工夫できるように、積み木など高さを変えられる遊具などを近くに用意しておく

遊びが広がったり深まったりした要因

- ・子どもの目に付く所に遊びに使う道具を用意した
- ・運動会の電車ごっこで橋をつくるという先行体験があつた
- ・偶然できた川のおもしろさがあつた

子どもが遊びの楽しさ、おもしろさを感じている姿を子どもの言葉で

教師の思い・願い

環境構成・再構成・教師の援助

山づくりを通して（Ⅱ期）

お花のケーキ、きれいでしょ

・教師も遊びながら、泥団子のつくり方を知らせる



砂だけでなく土や泥の感触も存分に楽しんでほしいな。

・水が扱いやすいようにコンテナに水を貯めておく

お団子の時みたいに白砂をかけたらい固い山ができるよ

お団子ができたよ



トロトロ、きもちいいね

・5歳児のつくる山の大きさやトンネルがあることなどに気付けるように知らせる

水と混ぜることで土の感触や固さが変わること気付いているな。団子や山を形づくる時にどうすればよいかを試す機会となるようにしよう。

トンネルができるくらい固い山をつくらう



・トンネルを掘るために必要なことがみんなに分かるような声掛けをする

みんなでトンネルを掘らう

一緒に遊んでいる子ども同士で、固い山をつくるためにはどうすればいいのかを考えてほしいな。

さっきは穴が大きすぎて壊れたから、次は、穴を小さくしてみよう



2人で一緒に掘ったら壊れたから、今度は一人ずつ穴を掘らう

どのようにすれば友達と一緒にトンネルを掘ることができるのか、自分たちで試す姿を見守ろう。

遊びが広がったり深まったりした要因  
・可塑性のある素材であった  
・視覚、感触などの変化を感じることができた  
・先行体験からいろいろな方法を試すことができた  
・できた喜びを分かち合える友達の存在があった  
・5歳児の遊びを見ることで具体的に目標がもてた

トナカイのソリづくりを通して（Ⅳ期）

ドングリ転がすの楽しかったな！次はみんなで何つくる？

クリスマスがいいな

本当に動いたらいいのに...

・本当にソリが動いたら楽しいという気持ちを受け止め、つくりたい、やってみたいと思えるよう、教師も一緒につくっていく



みんなが入れるくらいの家は？

いいやん！楽しそう



お城がいいな

じゃあ、みんなが乗れるソリつくろう！

クリスマスというイメージの湧きやすいものを通して、自分たちでつくり、遊べると楽しいだろうな。イメージしていることが具体的になるように、共感しながら話を聞き、言葉に表してみよう。

・十分に楽しめるよう、子どもと一緒に相談しながら材料や用具を準備する  
・十分に遊ぶための、時間と場所を保障する

つくったもので友達と一緒に遊ぶ楽しさが共有できるようにつないでいきたいな。

テープで貼ってるから回らへんねん

あれや！あのコマつけたら回るんちゃう？！

輪っかにしてテープ貼ったらきれいやな



ソリにタイヤつけたら動くかも！



・子どもと一緒にキャスターを探しに行く

それやったらすぐ取れてしまうんちゃう？



動いたらいいのになあ...

自分たちなりに試行錯誤しながら、気付きや発見する楽しさが味わえるよう、意欲的に取り組んでほしいな。そのためには、うまくいかなくても自分たちでやってみようとする姿を大切に支えていこう。

・つくったり、試したりしている時の表情やつぶやき、友達同士の会話などを細かく把握しながら、イメージや工夫を受け止めることで、表現する楽しさや充実感が味わえるよう支えていく



遊びが広がったり深まったりした要因  
・みんなが知っている共通の話題であった  
・考えを出し合える友達の存在があった  
・扱いやすい素材や材料がすぐに取り出して使えた  
・本当に動いたり乗ったりできる魅力的な遊びであった  
・失敗体験を見守りながら成功体験に導く教師の援助があった

## 遊びの育ちを追って（5歳児）

子どもが遊びの楽しさ、おもしろさを感じている姿を子どもの言葉で

### 水を流す遊びを通して（Ⅱ期）

水が流れたよ。  
先生、みてみて

水が流れてきた。  
もっと道を掘っていこう

ぼくも一緒に掘るよ。  
どんどん水が流れてきたね



・水を流して遊べるようにペットボトル製の手作り遊具を設える

A児が感じている楽しさを言葉にして返すことで、その遊びの楽しさをより感じられるといいな。

・A児が感じている楽しさを言葉にして返す

砂場が楽しい雰囲気になることで、今まで遊びに入ってこなかった子どもも遊びに入ってきてやすい雰囲気になったらしいな。また、砂や水に触れて遊ぶ楽しさを友達と一緒に感じ、繰り返し遊ぶ姿が見られるといいな。

・教師も一緒に遊びながら、B児たちの姿を認めたり、A児たちに知らせたりする

教師の思い・願い

環境構成・再構成・教師の援助

バケツを重ねるのもいいね

樋で坂をつくろう

積み木を重ねて、坂をつくろう。  
次は2つだね

水が流れたよ  
大成功！！

水の流れるを楽しむようになってきたので、樋を出すことで、構成して遊ぶことも楽しめるのではないだろうか。

・樋を構成して遊んだり、遊びながらつくり替えたりすることができるように場を設える

・樋に高低差をつけられるように積み木を準備する  
・自分なりに工夫して高低差をつける姿を認める

樋を組み合わせる中で、高低差をつけたいという思いをもっているようである。積み木を準備することで、より遊びが楽しくならないだろうか。

樋の間に土を入れたら、坂ができたよ

### 遊びが広がったり深まったりした要因

- ・可塑性のあるものに関わる環境があった
- ・試行錯誤できる遊具や時間があった
- ・少し難しいことに取り組めた
- ・遊びの先行者がいることで楽しそうな雰囲気が出てきた
- ・楽しさを共有したり、刺激し合ったりできる友達がいた

### ラグビーごっこを通して（Ⅲ期）

C児がラグビーシャツを着て登園してきた。興味をもったラグビーの遊びが広がるといいな。

友達と相談しながら、ルールや作戦を考えたり、場を準備したりしてほしいな。

・教師も一緒に遊びながら、子どもたち自身でルールや作戦を考えられるように支えていく

自分たちでラグビーの準備をしよう

幼稚園のルールを考えよう

テレビみたいにラグビーをしよう！

運動会の時みたいに、作戦会議をしよう

・ラグビーボールやマットをいつでも使えるように準備しておき、子どもが気付くように投げ掛ける



ルールだけでなく、遊びに必要なものも自分たちでつくると、より遊びを楽しめるのではないだろうか。

点数が分かりにくいから、得点ボードをつくろう

・遊びに必要なものを自分たちでつくれるような環境を整える  
・自分たちの体験から、つくり方を考えることができるように支える

どちらのチームから始めるか、決め方を考えよう

自分たちでつくった得点ボードをつかってラグビーをしよう！



### 遊びが広がったり深まったりした要因

- ・社会現象への興味、関心があった
- ・本物と同じ遊具や道具があった
- ・リレーや箱積み競争でのルールをつくる、チームに分かれて遊ぶという先行体験があった
- ・遊びに必要なものを考えてつくれることができる様々な材料、つくったものを使って遊べる十分な時間が確保されていた
- ・一緒にルールを相談できる友達の存在があった
- ・遊びの一員としての教師の存在があった